

## 令和五年度入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、ここに、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご列席をいただき、和歌山工業高等専門学校の令和五年度入学式を挙行できますことは、誠に喜ばしい限りです。本日、晴れやかな入学式を迎えられた新入生 161名、外国人留学生 4名、編入学生 1名、専攻科生 21名、合計 187名の皆さんの入学を心より歓迎いたします。皆さんと共に学ぶことができることを、教職員・在校生一同、楽しみにしております。これまで入学生を支えてこられたご家族の皆様にも、ご子息・ご令嬢の入学を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

また、御来賓の皆様には、お忙しい中この入学式にご臨席を賜りまして、心から感謝申し上げます。

和歌山高専は、一九六四年に設立されて以来、約八〇〇〇人の卒業生・修了生を社会に送り出してまいりました。本校の卒業生・修了生の評価は非常に高く、その多くは企業や官公庁などで中心的な役割を担っております。国内だけでなく国際的な舞台上で活躍する方や、専門分野の研究に最先端で取り組んでいる方もおります。新入生の皆さんにも、是非、こうした優れた先輩方を目標にして、頑張っていたいただきたいと思います。

本校で学ぶ際には、高等専門学校は、高校とは異なり、大学と同じ高等教育機関であるということに留意して下さい。このため、皆さんを「生徒」ではなく「学生」として迎えます。そのことを十分自覚していただけたらと思います。

これは具体的には、皆さんが本校において大学教員と同等の力量を持つ教授陣を中心とする授業を受けて、それぞれの専門分野において高度で先進的な研究を進めていくこととなります。まさに本校は、皆さんの自主的で自発的な学びを支援する場です。中学生の時までのように受け身で勉強するのではなく、自分がどのような知識・技能を修得したいのか等を、いつもよく考えるようにして下さい。さらに、明確な目的意識を持って自主的に、教員から知識や技能を十分に吸収し、深く探究しようとする、積極的な姿勢を持つようにして下さい。

皆さんには、工学分野の専門的な知識や技術はもちろんのことですが、人文科学や社会科学などもしっかりと学んでいただきたいと思います。少し難しいかもしれませんが、これらは皆さんの人間観、世界観といった私たちの社会の土台を創り上げるのに必要で、皆が社会人となってから、それぞれの分野でリーダーとなるために不可欠で重要な教養です。本校では、皆さんにこうした教養を体系的に学べる貴重な機会を提供します。十分に学んでください。また、これらを生かして今後の社会の課題を解決し新たな価値を創造していくためのアントレプレナーシップ、起業家精神というものを是非とも身につけていただければと思います。

さらに、クラブ活動をはじめ、学校行事や学内外のコンテストなどにも積極的に参加して下さい。学年や学科の枠を超えて、様々な教員や友人と交流したり切磋琢磨したりする経験は、皆さんが社会に出てからも忘れることのない貴重な財産となるとと思います。

最後になりますが、和歌山高専における皆さんの学生生活が、生き生きと楽しく、かつ、実り多いものとなることを心から祈念して、入学にあたっての式辞といたします。

令和五年四月五日

和歌山工業高等専門学校長 井上 示恩